

平成21年5月
編集・発行 農林水産省生産局技術普及課

このメールマガジンは、普及事業に関する情報などを、登録された皆様に無料でお届けするものです。もし、まわりに登録されていない方がいましたら、ぜひ登録をお勧めください。

登録先は、<http://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/index.html>をご覧ください。

【 本 号 の 内 容 】

21年度補正予算による関連施策（生産局関係）の紹介について
施策担当課長からのメッセージについて
メールマガジンに関するご意見等の募集について

21年度補正予算による関連施策（生産局関係）の紹介について

農林水産省生産局では、4月27日に国会に提出された21年度補正予算案（経済危機対策）による関連施策について、農業者の皆様向けのパンフレット等を作成し、生産局ホームページ上の事業紹介サイトに掲載しました。生産現場で御活躍なさっている普及指導員の皆様におかれましては、前号でお知らせした21年度当初予算だけでなく、今回の補正予算案による関連施策についても、産地や農業者のニーズに応じて、これらのパンフレット等を積極的にご利用いただき、農業者の皆様にご活用いただく機会としていただければ幸いです。

生産局の事業紹介サイトはこちらまで

http://www.maff.go.jp/j/seisan/soumu/sogo_annai/index.html

また、前号に引き続き、補正予算案による関連施策について、生産局の各担当課長から皆様へメッセージがございますので、どうぞご覧ください。

- (1) 水田をフルに活用して収入をアップさせませんか？
（需要即応型生産流通体制緊急整備事業）
- (2) コスト削減や高品質化を最新農業機械の導入で実現！
（食料供給力向上緊急機械リース支援事業）
【農業生産支援課長 雨宮 宏司】

今年、麻生総理が施政方針演説において触れておられたとおり、「水田フル活用への転換元年」です。麦、大豆、米粉・飼料用米等について実需者の需要と結びつけながら着実な生産拡大を図っていくため、当初予算に加え、地域一体となって行う実需者との連携、流通効率化、品質向上等の取組に対し追加支援を行うこととしました。

また、生産性向上や品質向上に効果の高い最新の農業機械をリース方式により導入する場合には、総リース料の一部（機械経費の1/2以内）を助成します。なお、本事業は、20年度補正のリース事業において採択に漏れた方も活用できます。これらの事業を地域や農業者の首農上の課題解決のために有効に活用していただけるよう、適切なアドバイスや技術指導をよろしく願います。

- (3) 鳥獣被害から あなたの農地を守ります（鳥獣害防止総合対策事業）
【農業生産支援課鳥獣被害対策室長 福田 英明】

野生鳥獣による農林水産業被害の広域化に対応するため、平成20年度に鳥獣被害防止特措法が施行され、被害に腐心する市町村の取組を支援する法的枠

組が整備されました。法施行後1年余りで約700の市町村で被害防止計画が作成され、21年度においては、当初予算額を大幅に上回る事業要望が寄せられたことから、今般の経済危機対策において、全ての事業要望にこたえるべく、事業地区の拡充等を内容とする予算を計上しました。

鳥獣被害でお困りのすべての皆様方に活用していただける事業規模とメニューを用意しておりますので、地域の取組を積極的にサポートしていただくようお願いいたします。

(4) 地産地消を支援します！そして機能性農産物をご存じですか？

(地産地消・産直緊急推進事業、強い農業づくり交付金(地産地消・産直緊急特別枠)、新需要創造対策事業)【技術普及課長 深井 宏】

「学校給食に地元の農畜産物をもっと使いたいな」とのお考えを原料費の1/2助成などにより本格的にお手伝いします。そして、地域の直売所や都会の地場産コーナー(インショップ)の開設などをご支援するメニューを用意しました。

また、話題は変わりますが、農産物には、GABAやポリフェノールなど様々な機能性成分を含むものがあります。それらの栽培技術の確立や加工用機械の整備などを支援し、機能性を活かした新食品や新素材の新たな需要を開拓します。

(5) 低投入・持続型農業の推進を！【生産流通振興課長 天羽 隆】

畑作地域においては化学肥料や農薬の施用を抑制しながら、連作障害を回避する低投入・持続型農業への転換が迫られています。

このため、次のような支援を行いますので、積極的にご活用ください。

ア 新規作物や休閑緑肥の導入により、例えば3輪作を4輪作にするように輪作体系を見直したり、地力の維持・増進を図ろうとする場合、新規作物の導入等に必要な機械・機器の導入に対して助成します。

イ ハリガネムシ等の土壌害虫の防除に地域として取り組む場合、必要な資材(誘殺灯、フェロモントラップ、農薬等)の購入に対して助成します(さとうきび作地域)。

ウ 堆きゅう肥等の活用を図る場合、堆きゅう肥の購入に対して助成します。

(6) 園芸農業の技術革新、産地強化を応援します。

【生産流通振興課参事官 田中 誠二】

園芸農業、園芸産地の底力を引き出し、技術革新、産地強化を図るため、以下の取組に対して支援を行います。

ア 温室や環境制御システムの導入(園芸施設リース補助)

イ 花粉交配用昆虫の増殖や省力化、品質向上等につながる資機材の導入

ウ 加工・業務用野菜の供給

エ 青果物の鮮度保存技術の導入や新たな流通システムの確立

オ 農商工連携のシンボリック取組である植物工場の普及・拡大

(7) 有機農業の取組拡大・施肥体系の転換を支援します(有機農業総合支援事業、施肥体系緊急転換対策事業)【農業環境対策課長 別所 智博】

有機農業については、18年12月の有機農業推進法の制定をきっかけに、栽培技術の指導や有機農産物の販路開拓等に取り組む地域を支援する「オーガニック・モデルタウン」事業などを推進しています。このモデルタウン事業の追加募集や技術支援施設の整備を行います。

また、昨年以降、肥料価格の高止まりの傾向が続いている中、施肥コスト低減の取組を進めていくことが重要です。このため、有機質由来の肥料成分を考慮した施肥設計の見直しやたい肥・緑肥等地域資源の活用により化学肥料を減らす取組を支援します。

これら事業の推進に対し、ぜひとも普及現場の皆様のご協力をお願い致します。

(8) 畜産経営の生産性向上等を支援をします(畜産自給力強化緊急支援事業、畜産経営維持緊急支援資金融通事業)【畜産部畜産企画課 徳田 正一】

畜産経営における生産性向上や飼料自給率の向上等に必要な機械のリース方

式による導入を支援します。

また、負債の償還が困難な農家に対して、負債の一括借換を行う新たな長期・低利資金を融通します(貸付後2年間は無利子です)。

(9) 稲わらの飼料利用などで、水田粗飼料を増産しましょう(飼料稲フル活用緊急対策事業)【畜産部畜産振興課 大野 高志】

21年は水田フル活用転換元年。皆さんの地域でも、飼料用米を生産していますか？

さて、飼料用米のほ場から出る稲わらはどうしますか？肉牛・酪農経営では、稲わらがまだまだ不足しています。是非、有効活用をお願いします。

また、昨年は10年ぶりに飼料作物の作付面積が増加しました。これに伴って、予算総額が決まっている耕畜連携水田活用対策事業の面積当たりの助成金が、今年大幅に減ると心配されている方も、この事業があれば、心配ご無用！

安定した畜産経営には、国産飼料が必要です。普及員の皆さんの活動で、是非、地域の飼料作物を拡大してください。

(10) 子牛価格が低いときだからこそ、繁殖雌牛の更新を！(優良繁殖雌牛更新促進事業)【畜産部食肉鶏卵課長 渡邊 毅】

肉用牛繁殖経営においては、生産コストの上昇や牛肉需要の低迷を背景として経営状況が悪化しており、繁殖雌牛の更新も停滞しています。

「更新したいけど、借金も増やしたくない。」そのような現場の声を踏まえ、優良な繁殖雌牛への更新に取り組む農協等に対して、繁殖雌牛の導入費用の一部を助成します(補助率1/3、最大20万円/頭)。

肉用牛繁殖農家さんへのアドバイス、サポートをよろしくお願いします。

引き続き、メールマガジンに関する意見等を受け付けています。購読者の皆様のご意見・ご要望をお待ちしています。

メルマガに対するご意見・ご要望はこちら

<https://www.contact.maff.go.jp/maff/form/2fba.html>

バックナンバーはこちら

http://www.maff.go.jp/j/seisan/gizyutu/hukyu/h_maiImag/index.html

配信先の変更、配信停止等はこちら

<http://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/index.html>

*** ご注意 ***

メールマガジンに記載したURLで、一部PDF形式のものがありません。

PDFファイルをご覧頂くためには、農林水産省ホームページ

(<http://www.maff.go.jp/j/use/link.html>)の「3 PDFファイルについて」にある「Get Adobe Reader」のボタンでAdobe Readerをダウンロードしてください。